

予算300億円台を要請 うりずんの会・県議会与党

【東京】県関係野党国会議員でつくる「うりずんの会」と県議会与党会派の代表者らは2日、国政政党を回り、2026年度沖縄関係予算について一括交付金を拡充した上で総額3千億円台を確保するよう求めた。

要請団は立憲民主党本部で小川淳也幹事長らと面談。少数与党の国会で、沖縄関係予算の3千億円確保を議論の趣上に乗せるよう要望した。与党最大会派のうりだ平和ネットの山内末子会派長は「3千億円に届かなければ大変厳しい。衆参で野党多数の力を示し、予算案の最終決定まで」(東京報道部・山城響)

要請に対し小川幹事長は「野党間は考え方には幅があり、必ずしも直ちに一致する状況ではない」としつつ「衆参両院で野党が過半数を制している状況を、沖縄振興の観点からも有力な手段の一つとして国民から預かった権能をしっかりと発揮していきたい」と答えた。ほかに日本保守党の百田尚樹代表らと面談した。自民党には事務方を通して要請書を提出した。3日は内閣府と財務省に要請する。(東京報道部・山城響)



立憲民主党の小川淳也幹事長(右端)に要請書を手渡すうりだ平和ネットの山内末子会派長(右から2人目)ら要請団。2日、東京・立民党本部